

現代教養学環

今、私たちの社会は、毎日刻々と変化しています。

変化の激しい時代では、これまで当たり前と思われていたことも、確実なものではなくなります。

そんな現代社会の本質をとらえ、より良い未来社会を築く、それが現代教養。

現代教養学環には、現代社会に不可欠な5つの専門コースがあります。

でも、入学時に決めなくていい。

地域社会学、マーケティング学、国際コミュニケーション学、心理学、サステイナブル工学、

私たちが生きる現代社会を5つの視点でとらえ、

幅広く、そして深く学びながら、みなさんの将来と一緒に考えましょう。



現代教養学環
3つのポリシー



学環長からのメッセージ



まだ自分を決めなくてもいい。学びながらなりたい自分を探す4年間。

将来が決められない、まだ決めたくないと思いませんか。そんな人に、現代教養学環は無数のチャンスを提供します。未知のことを新しい方法で学び、体験する。勉強が面白く、圧倒的に楽しい。そうした4年を過ごしながら、一人前の、なりたい自分になってもらうための場所が、この現代教養学環です。皆さんがそれぞれに描くどのような未来であっても、時代を生き抜くために必要な資質・能力は共通です。現代教養学環はその力を養うので、どんな仕事にも役に立つのです。

並木 浩一 教授 [メディア論/表現文化論/日本語教育]

現代教養学環

特徴あるプログラム

大学共通の科目群で幅広く学ぶ

MAST

キャリア教育、アカデミックスキル、データサイエンス、英語など「基盤」となる力を学びます。現代教養学環の5つの専門コースの基礎となるコア科目をすべて履修し、幅広い教養の素地を身に付け、社会を様々な角度から比較・検討し、課題を解決するための視点を養います。

MASTについて
詳しくは
03ページへ

日本の課題を実体験をもって学ぶ

桐蔭キャラバン

「桐蔭キャラバン」は、フィールドスタディ-IVの総称です。大都市、地方都市には共通する課題もあれば、それぞれ独自の課題があります。4つの授業では、それぞれ日本の複数都市をめぐる、社会を異なる視点から見て比較することを学びます。



4年間の学び

現代社会を読み解く 5つの専門コース

統合された知をもって、複雑化する現代社会の諸課題の解決に貢献する人材を目指す。

心理学コース

社会の中で生きる人間のこころと行動に関わる様々な理論を学びます。心理学の思考と理論を土台として、現代社会の諸問題を心理学的視点から読み解き、課題解決に貢献する人材を育成します。

地域社会学コース

社会学の理論を土台として、行政や産業、観光などから社会のありかたについて学びます。身の回りの地域に留まらず日本社会が抱える構造的課題の解決に貢献できる人材を育成します。

マーケティング学コース

マーケティング理論を中心に、起業家精神や現代社会特有のビジネスのあり方を学びます。激しく変化する現代社会のなかで新たな価値を創出し、社会の持続可能な発展に貢献する人材を育成します。

国際コミュニケーション学コース

言語や文化を中心に、異文化コミュニケーションの理論を学びます。グローバル社会の一員としての自覚をもち、豊かな国際感覚を身に付け、多文化共生社会の実現に貢献する人材を育成します。

サステナブル工学コース

工学を中心に、エネルギー問題や地球温暖化などの課題を克服し、脱炭素化社会を実現するための知識・技術を学びます。環境と経済を両立し、豊かで持続可能な社会づくりに貢献する人材を育成します。

1年次

2年次

専門知識を学ぶ

コア科目

5コースすべてのコア科目を学んで視野を広げ、批判的・複眼的に社会を捉える力を養います。

コース基礎科目

基礎ゼミナール

社会で実践する

プロジェクト入門

分野横断型プロジェクト

桐蔭キャラバン

スキルを高める

アカデミックスキル科目

デジタルスキル科目

AI・データサイエンス教育科目

初年次の必修科目「データコミュニケーション入門」は、文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)」に認定されています。(2027年3月31日まで)



進路を考える

初年次キャリア科目

入学前から、互換するプログラムで学べます。詳しくは36ページを参照

キャリアセミナー

インターンシップ科目

現代教養学環は法学部、医用工学部、スポーツ科学部が連携協力し、
未来社会の構築に貢献できる人材を育成する新たな教育プログラムです。
5つの専門コースを通じて理論と実践を往還しながら学修することで、
現代社会のさまざまな課題を解決する能力を養います。

4年間課題に挑み続ける

プロジェクト科目

1年次から、身の回りの地域社会や組織・企業が抱える問題の解決を目指したプロジェクト型学習に積極的に取り組みます。授業では、仮説を立てて調査を行い、分析し解釈する方法を身につけ、知の活かし方を学びます。
4年次の知識集約型研究プロジェクトでは、一般的な個人での卒業論文・卒業研究とは異なり、チームで協働して課題に取り組み、仮説を立て、調査・分析を行い、解決策の企画・実施まで挑戦します。

プロジェクト科目/プロジェクト型学習とは、探究学習のような科目です。身の回りの出来事や社会にある問題・課題の解決のために、他の授業で身につけた知識や技術を総動員して臨む学習形態の科目のことです。

3年次

4年次

想定される卒業後の進路

コース発展科目

専門探究ゼミナール

現代社会考察科目

知識集約型研究プロジェクト



学環では、幅広い教養と確かな専門知識を身につけて、現代社会の課題を解決できる力を養います。卒業後はそうした力を生かして、地域社会の発展を支えるNPOなどの非営利団体や社会起業家、観光協会、旅行会社などへの就職を想定しています。また変わりゆく社会のなかで、新たな価値を生み出し提供する広告代理店や商社、出版業界などへの就職も支援します。

地域社会の発展を支える業界

- ▶ 地方金融機関
- ▶ 地方公務員
- ▶ 観光・旅行関連企業
- ▶ 各種団体・NPO・NGO職員
- ▶ 社会企業家

変わりゆく社会の中で 新たな価値を生み出す業界

- ▶ 広告代理店
- ▶ 商社
- ▶ 出版関連企業

現代教養学環

学びと人と社会を繋いだ学びの「環」で、
一生役に立つ学びを体験する、
絶対に後悔しない4年間



私たちの生きる社会は多くの課題を抱えています。

その解決のためには、様々な分野の知を結びつける力が必要です。

現代教養学環では、1年次には5つの内容を幅広く学び自分の可能性を広げ、

2年次からコースに分かれて専門分野の知識を深めます。また1年次から教室を飛び出して、

仲間と一緒に作り上げる「プロジェクト型学習」で経験を積み、課題解決のための力を養います。

学びのステップ

1年次

大学での学びの基盤を築き、可能性を探る

MAST科目で“なりたい自分”を探り、大学で学ぶためのスキルを身につけます。5つのコースの基礎科目を幅広く学び、2年次から進むコースを探ります。さらに「プロジェクト入門」では、仲間と一緒に課題解決に取り組み、チームで協働する力を養います。

2年次

知を組み合わせ、仲間とともに社会課題に挑む

1年次に身につけた基礎知識を、選択した専門コースのなかで深めていきます。さらに「分野横断型プロジェクト」では、仲間とともに異なる分野の知を組み合わせ、地域社会や企業が抱える身近な課題について仮説を立てます。

3年次

社会を相対化する視点をもって、専門性を深める

1・2年次に行われる「フィールドスタディ」では日本の複数都市をめぐりながら、社会を異なる視点から見て比較することを学び、地域社会が抱える課題について実体験として学びます。その経験を土台に、ゼミや専門科目での学びを通して、仮説を立てて調査を行い、分析し、解釈する方法を身につけ、自らの専門性を深めていきます。

4年次

知を統合して、現代社会の課題を解決する

「知識集約型研究プロジェクト」では、3年次までに培ってきた専門知識と幅広く社会を見通す視野を活用し、現代社会が抱える実際の課題に対して、すべての知を統合させて解決を目指します。

授業内容(カリキュラム)についてはこちらをご覧ください。



次への一步で差をつけるキミのためのプログラム

現代教養学環の学び

今、社会で求められる力は、様々な情報を組み合わせて
自分なりのアイデアを創出する力や、自分の意見を相手に適切に伝える力です。
現代教養学環では、これらの力を入学前から、そして授業以外の場面でも養っていきます。

＼ 入試前から一緒に学ぶ /

学びの環入試 / 探究型入試 (総合型選抜)

現代教養学環の総合型選抜は入試当日よりも前から準備が始まります。大変に聞こえるかもしれませんが、入学前から私たちと一緒に学びませんかという思いを込めた入試方式です。

学びの環入試は、オープンキャンパスなどで開催されるワークショップ型の授業に参加し、その成果を小論文として提出する方式。小論文は一度提出して終わりではなく、ワークショップを担当する教員たちが評価観点に沿って添削します。そのフィードバックを参考にして再度修正した小論文を提出して、基準を満たしたと認められると、修了証が授与されます。出願時に修了証を提出することで、入試当日の小論文は免除されます。

探究型入試は、事前に公開されるテーマについて調べ学習を行い、ノートを持ち込んで受験する方式。テーマは、現代教養学環の5つのコースから出題され、大学入学後に学びたいと考えている興味のあるものでも、高校までの探究学習などで取り組んだことに関連するものでも、好きなテーマを選択できます。



＼ 社会につながるスキルを身につける /

プレゼンテーション道場100

現代教養学環で身につけ、生涯役に立つ強力な「武器」が、高いプレゼンテーション能力です。皆さんは、卒業までに100回以上のプレゼンテーションを経験することができます。授業の中で、学修成果を発表することはもちろんのこと、授業以外の場面で、大学主催のプレゼンテーション大会や、外部のイベントやコンテスト、学会などの様々なプレゼンの機会を学生に提供します。

誰もが、人前で話をするのは緊張します。はじめはうまくできないかもしれませんが、それでも、準備をし、練習を重ね、本番に臨みます。本番後にはフィードバックをもらい、次回に生かす。大学4年間、このサイクルを回し続けることで、プレゼンスキルを向上させるだけでなく、場数を踏んできたという経験が、自信につながります。



現代教養学環 Q&A

Q がっかん 学環とはなんですか？

A 現代教養学環は、桐蔭横浜大学のすべての組織がみなさんの学びのために集まってできた新しい学部相当の教育組織です。他の学部と同様に、“現代教養学環の入学試験”に合格した受験生が入学できます。学生のみなさんの学びを中心に、先生もスタッフもすべてが環になって支えていく。学びの環。それが「学環」という名称に込めた私たちの思いです。

Q どんな学生が向いているのでしょうか？

A 様々なことにチャレンジをするなかで、将来の“なりたい自分”を探究したい人を歓迎します。また学環では、4年間でいくつものプロジェクトを経験し、課題解決能力を高めていきます。そうした力を生かして、自らアイデアを出し、仲間と協働して、よりよい社会を実現していくことに意欲のある人を求めています。

Q どのようにしてコースを選択しますか？

A 1年次には5つのコースの基礎科目を幅広く学びながら自分の興味を探り、2年次のゼミでは研究室をローテーションで回ります。2年次には希望する2つのコースの専門科目を中心に学び、3年次から最終的に進むコースを決定します。

Q 実習系の学びにはどのようなものがありますか？

A 「プロジェクト入門」(1年次)、「分野横断型プロジェクト」(2年次)、「フィールドスタディ」(1～2年次)、「知識集約型研究プロジェクト」(4年次)のように様々なプロジェクト型学習に挑戦します。また3年次からはゼミに所属し、専門性を深めていきます。所属するコースや一緒に活動する企業や組織によって取り組む課題やフィールドは様々です。